

小池書記局長が熱く訴え

日本共産党演説会

ソレイユ会場に1300人、オンライン視聴会に11か所820人が参加

政治のゆがみを「もとから」たどり
日本共産党の躍進必ず！



衆議院予定候補も決意表明

來たるべき総選挙で日本共産党を躍進させようと、日本共産福岡県委員会は7月17日、北九州市小倉北区のソレイユホールで、小池晃書記局長・参議院議員を迎えた演説会を開催し1300人が参加しました。また、県内各地11箇所でオンライン視聴会も行われ、全体で820人が参加をしました。

小池書記局長は演説で、マイナンバーのトラブルが続き、岸田政権の支持率が急降下しているのは「国民の声を聞く力がない」からだと批判。国民の声を聞き、真正面から悪政と対決しているのが日本共産党だと強調しました。また、行き詰った政治状況のなか、どの党も「改革」を叫んでいるが、共産党以外は言わないと指摘。それは「こんなアメリカ言いなりでいいのか」「何でもかんでも財界・大企業の儲け最優先でいいのか」ということだと述べ、日本共産党を大きくのばして政治をかえよう

うと訴えました。そのうえで、福岡県は60年代に党勢を倍加したことで、県議5議席、国會議員3議席を得たことを紹介。選挙勝利に向け、いま取り組んでいる党勢の3割増をやりとげること、とりわけ、党員拡大では福岡県で、党大会現勢回復まであと172人であるため、まだ入党されていない方はぜひ入党を呼びかけますと訴えました。

演説会では、市民連合ふくおかの共同代表で福岡大学名誉教授の星乃治彦さんが連帯の挨拶。また、田村たかあき衆議院議員・比例予定候補、福岡1区のわたぬき英彦、3区の山口ゆうと、6区の河野かずひろが決意表明をおこないました。当日、ソレイユ会場で3名、その他で5名（18時現在）が入党しました。ソレイユ会場で集まつた募金は22万8千335円でした。みなさんのご協力ありがとうございました。



県内各地でオンライン視聴会



福岡市早良区

日本共産党

福岡県委員会
092-411-5131

福岡民報

◇日本共産党福岡県委員会の見解を紹介します。

◇発行／福岡民報社 ◇1964年12月9日第3種郵便物認可

◇〒810-0022 福岡市中央区薬院3-13-12 大場ビル3階

2023年
7月号外